



【NVIDIA プレスリリース】

2020 年会計年度第 3 四半期の業績を発表

NVIDIA は 2019 年 10 月 27 日に終了した第 3 四半期の売上高が 30 億 1,000 万ドルとなったことを発表しました。前年同期は 31 億 8,000 万ドル、前四半期は 25 億 8,000 万ドルでした。

米国 GAAP に基づく業績では、第 3 四半期の希薄後 1 株当たりの利益は、前年同期の 1.97 ドル、前四半期 0.90 ドルに対して 1.45 ドルでした。非 GAAP に基づく希薄後 1 株当たりの利益は、前年同期の 1.84 ドル、前四半期の 1.24 ドルに対して 1.78 ドルでした。

NVIDIA の創業者/CEO であるジェンスン ファン (Jensen Huang) は、次のように述べています。「ゲーミング事業とハイパースケールのお客様からの需要が第 3 四半期の業績を押し上げました。コンピュータグラフィックスのリアルさが、NVIDIA RTX によって飛躍的に発展しました。」

また、「当四半期において、NVIDIA は AI が最も大きなインパクトを与える基礎を築きました。NVIDIA の事業範囲を、クラウドを越えてエッジにまで広げました。エッジでは、GPU によって加速される 5G、AI および IoT が世界最大の業界に革命を起こします。NVIDIA は、対話型 AI と推論の台頭によって、この先データセンターが大きく成長することを見込んでいます。」と述べています。

NVIDIA は、2019 年 11 月 29 日を配当基準日として、2019 年 12 月 20 日に 1 株当たり 0.16 ドルの次回四半期現金配当を支払う予定です。

NVIDIA は、Mellanox Technologies, Ltd. の買収の完了後に、自社株買いを再開する予定です。欧州連合および中国の規制機関との協議は進展中であり、暦年の 2019 年末までに買収が完了する可能性もありますが、NVIDIA は暦年の 2020 年の早期に買収が完了する可能性が高いと考えています。

2020 年会計年度第 3 四半期の概要

四半期財務情報 (GAAP ベース) の比較					
(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを除く)	Q3 FY20	Q2 FY20	Q3 FY19	Q/Q	Y/Y
売上高	\$3,014	\$2,579	\$3,181	17% 増	5% 減

売上高総利益率	63.6%	59.8%	60.4%	380 bps 増	320 bps 増
営業費用	\$989	\$970	\$863	2% 増	15% 増
営業利益	\$927	\$571	\$1,058	62% 増	12% 減
純利益	\$899	\$552	\$1,230	63% 増	27% 減
希薄後 1 株当たりの利益	\$1.45	\$0.90	\$1.97	61% 増	26% 減

四半期財務情報 (非 GAAP ベース) の比較					
(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを 除く)	Q3 FY20	Q2 FY20	Q3 FY19	Q/Q	Y/Y
売上高	\$3,014	\$2,579	\$3,181	17% 増	5% 減
売上高総利益率	64.1%	60.1%	61.0%	400 bps 増	310 bps 増
営業費用	\$774	\$749	\$730	3% 増	6% 増
営業利益	\$1,156	\$802	\$1,210	44% 増	4% 減
純利益	\$1,103	\$762	\$1,151	45% 増	4% 減
希薄後 1 株当たりの利益	\$1.78	\$1.24	\$1.84	44% 増	3% 減

2020 年会計年度第 4 四半期の予想には、Mellanox の買収による寄与は含まれておらず、以下の
ように予想されます。

- 売上高は、29 億 5,000 万ドル $\pm 2\%$ となる見込みです。データセンターの力強い連続的な成長が見込まれますが、GeForce® ノート PC GPU およびゲーミング プラットフォーム用 SoC モジュールの季節的な減少によって相殺される見込みです。
- 売上高総利益率は、GAAP ベースが $64.1\% \pm 0.5\%$ 、非 GAAP ベースが $64.5\% \pm 0.5\%$ となる見込みです。
- 営業費用は、GAAP ベースが約 10 億 2,000 万ドル、非 GAAP ベースが約 8 億 500 万ドルとなる見込みです。
- GAAP ベースおよび非 GAAP ベースのその他の利益および費用は、ともに約 2,500 万ドルの利益となる見込みです。
- GAAP 税率および非 GAAP 税率は、ともに $9\% \pm 1\%$ となる見込みです (個別項目は除く)。GAAP ベースの個別項目は、四半期ベースで変動すると NVIDIA が予想する、株式報酬に関連した税制優遇措置の過不足を含みます。

•
ハイライト

2020 年会計年度第 2 四半期末以降、NVIDIA は以下の分野で進展がありました。

ゲーミング

- Microsoft と共同で、世界で最も人気の高いコンピュータ ゲーム、[Minecraft](#) にレイ トレーシングを採用することを発表しました。
- 世界で最も売れている GPU、GeForce GTX 1060 の後継品種として GeForce GTX™ GPU の SUPER バージョン、[GeForce GTX 1650 SUPER](#) および [GeForce GTX 1660 SUPER](#) を発表しました。
- GeForce RTX GPU の AI 機能を活用して、ライブストリーミングでのバーチャル グリーンスクリーン、フィルター、AR 効果を有効にした [RTX ブロードキャスト エンジン](#)を発表しました。
- 比類なきレベルのホーム エンタテインメント、ゲーミングおよび AI 機能をリビングルームにお届けするストリーミング メディア プレーヤー、[SHIELD TV](#) の新モデル 2 機種を発表しました。
- 韓国の LG U+ と日本のソフトバンクに加え、台湾モバイルおよびロシアの Rostelcom が運営する GFN.ru によるサービスの発表により、[GeForce NOW™](#) のゲーム ストリーミングの提供範囲を拡張しました。

データセンター

- 高速化された AI を小売、製造、通信、物流をはじめとする業界に提供する [NVIDIA® EGX インテリジェント エッジ コンピューティング プラットフォーム](#)を立ち上げました。初期の採用企業には Walmart、BMW、NTT 東日本、Procter & Gamble および Samsung Electronics などが含まれています。
- エッジ コンピューティングの需要に対応するために、Microsoft Azure ソフトウェアを NVIDIA T4 GPU 搭載の NVIDIA EGX と組み合わせる、最適化されたハイブリッド クラウド プラットフォームの提供で [Microsoft](#) と提携しました。
- 電気通信事業者が GPU を利用して高性能で効率的な、仮想化された 5G 無線アクセスネットワークを構築することを可能にするために、[Ericsson](#) と共同で 5G 通信市場に参入しました。
- Red Hat OpenShift と GPU アクセラレーテッド サーバーを利用したソフトウェア デファインド 5G RAN の提供で、[Red Hat](#) との提携を発表しました。
- データセンターおよびエッジにおける AI ワークロード性能を測定する、初の推論ベンチマーク、[MLPerf Inference 0.5](#) で最速記録を達成しました。
- NVIDIA T4 GPU を使用して [AWS 上で VMware Cloud を加速するために](#) VMware と提携し、企業向けに仮想環境で GPU サーバーの AI ワークロードを実行する、新たな NVIDIA vComputeServer ソフトウェアを発表しました。

- 郵便物のデータ処理効率を改善するために、[米国郵政公社](#)が NVIDIA AI テクノロジーを活用することを発表しました。

プロフェッショナル ビジュアライゼーション

- [Adobe](#) の 3 製品 (Adobe Dimension、Substance Alchemist および Premiere Pro) を含む、40 以上のクリエイティブおよびデザイン向けアプリケーションが現在、RTX テクノロジーによって高速化されていることを発表しました。

エッジ コンピューティング

- エッジにおけるロボティックおよび組込みコンピューティング デバイス向けの、世界最小で、最も強力な AI スーパーコンピューター、[Jetson Xavier™ NX](#) を発表しました。

NVIDIA CFO によるコメント

NVIDIA のエグゼクティブ バイス プレジデント兼最高財務責任者 (CFO) であるコレット クレス (Colette Kress) による本四半期に関するコメントは下記リンクに掲載しています。

<https://investor.nvidia.com/home/default.aspx> (英語)。

カンファレンス コールおよび Web キャスト情報

NVIDIA は、2020 年会計年度第 3 四半期の決算および現在の財務見通しについて議論するアナリストおよび投資家とのカンファレンス コールを開催しました。カンファレンス コールのライブ Web キャスト (視聴のみモード) は、NVIDIA のインベスター リレーションズ ウェブサイト、<https://investor.nvidia.com/home/default.aspx> にアクセス可能です。Web キャストは録音され、NVIDIA の 2020 年会計年度第 4 四半期決算についてのカンファレンス コールが開催されるまで再生できます。

非 GAAP 財務指標について

NVIDIA では、GAAP ベースの要約連結損益計算書と要約連結貸借対照表に加え、一部の項目については非 GAAP ベースの財務指標を使用しています。使用している非 GAAP 財務指標は、非 GAAP ベースの売上高総利益、非 GAAP ベースの売上高総利益率、非 GAAP ベースの営業費用、非 GAAP ベースの営業利益、非 GAAP ベースのその他の利益 (費用)、非 GAAP の支払法人税、非 GAAP ベースの純利益、非 GAAP ベースの希薄後 1 株当たり純利益あるいは利益、非 GAAP ベー

スの希薄後株式数、ならびにフリー キャッシュ フローです。また、現在と過去の財務指標が比較しやすいように、GAAP ベースの財務指標と非 GAAP ベースの財務指標がどのような関係にあるのかも明らかにしています。この情報を活用すれば、関連する GAAP 財務指標から、株式報酬費用、和解費用、再編費用他、買収関連費用、関係会社以外への投資による損益、減債償却に関連する支払利息、および該当する場合には、これらの項目に関連して発生する税金の影響を除外することができます。フリーキャッシュ フローは、GAAP ベースの営業活動によるキャッシュ純額から不動産および無形資産の購入を差し引いて算出されます。非 GAAP 財務指標の提示は、過去から続く財務状況の変遷を理解しやすくするものであると NVIDIA では考えています。なお、NVIDIA が提示している非 GAAP 財務指標はそれのみを独立して見るべきものでもなければ、GAAP ベースで用意された業績を代替するものでもありません。また、NVIDIA が提示する非 GAAP 財務指標は、他社が提示する非 GAAP 財務指標とは異なる可能性があります。

NVIDIA CORPORATION

要約連結損益計算書

(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを除く)

(未監査)

	四半期		3 四半期累計	
	2019 年 10 月 27 日まで	2018 年 10 月 28 日まで	2019 年 10 月 27 日まで	2018 年 10 月 28 日まで
売上高	\$ 3,014	\$ 3,181	\$ 7,813	\$ 9,511
売上原価	1,098	1,260	3,060	3,547
総利益	1,916	1,921	4,753	5,964
営業費用				
研究開発費	712	605	2,091	1,729
販売費・一般管理費	277	258	806	725
営業費用合計	989	863	2,897	2,454
営業利益	927	1,058	1,856	3,510
受取利息	45	37	137	94
支払利息	(13)	(15)	(39)	(44)
その他 (純額)	-	1	-	12

その他の利益 (費用) 合計	32	23	98	62
法人税費用控除前利益	959	1,081	1,954	3,572
法人税費用 (便益)	60	(149)	109	(3)
純利益	\$ 899	\$ 1,230	\$ 1,845	\$ 3,575

1 株当たり純利益:

希薄化前	\$ 1.47	\$ 2.02	\$ 3.03	\$ 5.88
希薄化後	\$ 1.45	\$ 1.97	\$ 2.99	\$ 5.71

1 株当たりの計算に用いた加重平均株式数:

希薄化前	610	609	609	608
希薄化後	618	625	617	626

NVIDIA CORPORATION

要約連結貸借対照表

(単位: 百万ドル)

(未監査)

	2019 年 10 月 27 日	2019 年 1 月 27 日
資産		
流動資産:		
現金、現金同等物および市場性のある有価証券	\$ 9,769	\$ 7,422
売掛金勘定 (純額)	1,455	1,424
棚卸資産	1,047	1,575
前払費用およびその他の流動資産	149	136



流動資産合計	12,420	10,557
固定資産 (純額)	1,517	1,404
オペレーティング リース資産	527	-
のれん	618	618
無形資産 (純額)	43	45
繰延税金資産	569	560
その他資産	116	108
資産合計	<u>\$ 15,810</u>	<u>\$ 13,292</u>

負債、転換社債転換債務および株主資本

流動負債:

買掛金勘定	\$ 591	\$ 511
未払およびその他の流動負債	884	818
流動負債合計	<u>1,475</u>	<u>1,329</u>
長期負債	1,990	1,988
長期オペレーティング リース負債	469	-
その他の長期負債	662	633
負債合計	<u>4,596</u>	<u>3,950</u>
株主資本	<u>11,214</u>	<u>9,342</u>
負債および株主資本合計	<u>\$ 15,810</u>	<u>\$ 13,292</u>

NVIDIA CORPORATION

GAAP ベースから非 GAAP ベースへの財務指標の調整

(単位: 百万ドル、1 株当たりのものを除く)

(未監査)

	四半期			3 四半期累計	
	2019 年 10 月 27 日ま で	2019 年 7 月 28 日まで	2018 年 10 月 28 日ま で	2019 年 10 月 27 日ま で	2018 年 10 月 28 日ま で
GAAP ベースの総利益	\$ 1,916	\$ 1,541	\$ 1,921	\$ 4,753	\$ 5,964
GAAP ベースの総利益率	63.6 %	59.8 %	60.4 %	60.8 %	62.7 %
株式報酬費用 (A)	15	8	5	27	21
和解費用	-	2	14	11	14
非 GAAP ベースの総利益	\$ 1,931	\$ 1,551	\$ 1,940	\$ 4,791	\$ 5,999
非 GAAP ベースの総利益率	64.1 %	60.1 %	61.0 %	61.3 %	63.1 %
GAAP ベースの営業費用	\$ 989	\$ 970	\$ 863	\$ 2,897	\$ 2,454
株式報酬費用 (A)	(208)	(216)	(135)	(597)	(379)
買収関連費用	(7)	(5)	(1)	(22)	(5)
和解費用	-	-	(1)	(2)	(3)
再編費用他	-	-	4	-	4
非 GAAP ベースの営業費用	\$ 774	\$ 749	\$ 730	\$ 2,276	\$ 2,071
GAAP ベースの営業利益	\$ 927	\$ 571	\$ 1,058	\$ 1,856	\$ 3,510
営業利益に対する非 GAAP 調整 の影響額合計	229	231	152	659	418
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 1,156	\$ 802	\$ 1,210	\$ 2,515	\$ 3,928
GAAP ベースのその他の利益 (費 用)	\$ 32	\$ 35	\$ 23	\$ 98	\$ 62
関係会社以外への投資による損失 (利益)	-	-	(2)	1	(11)
減債償却に関連する支払利息	1	-	-	1	1

非 GAAP ベースのその他の利益 (費用)	\$ 33	\$ 35	\$ 21	\$ 100	\$ 52
GAAP ベースの純利益	\$ 899	\$ 552	\$ 1,230	\$ 1,845	\$ 3,575
非 GAAP 調整の税引前合計影 響額	230	231	150	660	409
非 GAAP 調整の法人税に対する 影響額 (B)	(26)	(21)	(91)	(97)	(199)
法人税改革による税制優遇措置	-	-	(138)	-	(138)
非 GAAP ベースの純利益	\$ 1,103	\$ 762	\$ 1,151	\$ 2,408	\$ 3,647
希薄後 1 株当たり純利益					
GAAP ベース	\$ 1.45	\$ 0.90	\$ 1.97	\$ 2.99	\$ 5.71
非 GAAP ベース	\$ 1.78	\$ 1.24	\$ 1.84	\$ 3.90	\$ 5.83
希薄後 1 株当たり純利益の計算に 用いた加重平均株式数	618	616	625	617	626
GAAP ベースの営業活動によるキャッ シュ純額	\$ 1,640	\$ 936	\$ 487	\$ 3,296	\$ 2,845
固定資産および無形資産の購入	(104)	(113)	(150)	(344)	(397)
フリー キャッシュ フロー	\$ 1,536	\$ 823	\$ 337	\$ 2,952	\$ 2,448

(A) 株式報酬の構成は次のとおり:

	四半期			3 四半期累計	
	2019 年 10 月 27 日ま で	2019 年 7 月 28 日まで	2018 年 10 月 28 日ま で	2019 年 10 月 27 日ま で	2018 年 10 月 28 日ま で
売上原価	\$ 15	\$ 8	\$ 5	\$ 27	\$ 21



研究開発費	\$ 141	\$ 145	\$ 88	\$ 400	\$ 237
販売費・一般管理費	\$ 67	\$ 71	\$ 47	\$ 197	\$ 142

(B) 非 GAAP 調整の法人税に対する影響額 (GAAP 会計基準 (ASU 2016-09) に基づく株式報酬に関する税制優遇措置の過不足の認識を含む)

NVIDIA CORPORATION

GAAP ベースから非 GAAP ベースへの見通しの調整

	FY2020 第 4 四半期見 通し
GAAP ベースの総利益率	64.1 %
株式ベースの報酬の影響額	0.4 %
非 GAAP ベースの総利益率	64.5 %

	FY2020 第 4 四半期見 通し
	(単位: 百万ドル)
GAAP ベースの営業費用	\$ 1,015
株式ベースの報酬費用、買収関連費、およびその他の費用	(210)
非 GAAP ベースの営業費用	\$ 805

NVIDIA について

1999 年における NVIDIA (NASDAQ 表示: NVDA) による GPU の発明は、PC ゲーミング市場の成長に爆発的な拍車をかけ、現代のコンピュータ グラフィックスを再定義し、並列コンピューティングに革命的变化を起こしました。最近では、GPU ディープラーニングが最新の AI (次世代コンピューティング) に火をつけ、



世界を知覚し理解することができるコンピュータ、ロボット、自律走行車の脳として GPU は機能しています。詳細は、こちらのリンクから：www.nvidia.co.jp/

コンピュータ グラフィックスのリアルさが NVIDIA RTX によって飛躍的に発展すること、AI が大きなインパクトを与える分野で NVIDIA が築いたと考える基礎、クラウドを越えて GPU によって加速される 5G、AI、および IoT が世界最大の業界に革命を起こすと予想されるエッジに NVIDIA が事業範囲を広げること、対話型 AI と推論の台頭によって促進されるデータセンターの大きな成長、NVIDIA が Mellanox の買収の完了後に自社株買いを再開すること、Mellanox 買収に関する規制機関による承認プロセスの状況および買収完了のタイミング、2020 年会計年度第 4 四半期に関する NVIDIA の業績見通し、2020 年会計年度第 4 四半期における、データセンターの力強い連続的な成長に関する NVIDIA の予想、ならびにそれを相殺する GeForce® ノートブック GPU およびゲーミング プラットフォーム用 SoC モジュールの季節的な減少、2020 年会計年度第 4 四半期に関する NVIDIA の予想税率、税制優遇措置の過不足に変動が生じるとの NVIDIA の予想、Minecraft がレイ トレーシングを採用すること、ならびに、RTX ブロードキャスト エンジン、SHIELD TV の新モデル 2 機種、NVIDIA EGX インテリジェント エッジ コンピューティング プラットフォーム、NVIDIA の 5G 通信市場への参入、NVIDIA の VMware との提携、NVIDIA vComputeServer ソフトウェア、および米国郵政公社による NVIDIA AI テクノロジーの利用による便益と影響など、本プレスリリースにおける一定の記載は将来の見通しに関する記述であり、予測とは著しく異なる結果を生ずるリスクおよび不確実性を伴っています。かかるリスクと不確実性は、世界的な経済環境、サードパーティに依存する製品の製造・組立・梱包・試験、技術開発および競合による影響、新しい製品やテクノロジーの開発あるいは既存の製品やテクノロジーの改良、NVIDIA 製品やパートナー企業の製品の市場への浸透、デザイン・製造あるいはソフトウェアの欠陥、ユーザーの嗜好および需要の変化、業界標準やインターフェイスの変更、システム統合時に NVIDIA 製品および技術の予期せぬパフォーマンスにより生じる損失などを含み、その他のリスクの詳細に関しては、Form 10-K での NVIDIA のアニュアル レポートならびに Form 10-Q での四半期レポートなど、米証券取引委員会 (SEC) に提出されている最新の NVIDIA の報告書に適宜記載されます。SEC への提出書類は写しが NVIDIA の Web サイトに掲載されており、NVIDIA から無償で入手することができます。これらの将来予測的な記述は発表日時点の見解に基づくものであって将来的な業績を保証するものではなく、法律による定めがある場合を除き、今後発生する事態や環境の変化に応じてこれらの記述を更新する義務を NVIDIA は一切負いません。

© 2019 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA、NVIDIA のロゴ、GeForce、GeForce GTX、GeForce NOW、Jetson Xavier、NVIDIA RTX、および NVIDIA SHIELD は、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有企業の商標または登録商標である可能性があります。機能、価格、入手可能性、および仕様は予告なしに変更されることがあります。